

令和6年度 日之影町立日之影小学校 学校評価

- 「評価」について、目標の達成度に基づき、次の4段階で評価を行う。
4：期待以上、3：期待どおり、2：やや期待を下回る、1：改善が必要
- 「評価者」…「第一次」：学校による自己評価、「第二次」：保護者評価、「第三次」：学校運営協議会委員評価

評価項目	達成目標と方策	第一次評価者所見	評価		
			第1次	第2次	第3次
確かな学力の向上	1 学力向上を図るための授業力の向上と基礎学力の定着を図る指導の徹底	今年度課題であった「一人一人が問い合わせをもち、高め合う児童の育成」について、授業改善・指導方法の工夫等について協議を重ね、実践を積んできた。保護者からの評価を真摯に受け止め、少人数ならではの「個に応じたきめ細かい指導」の充実に努めていく。	4	3	4
	2 読書指導の充実	読み聞かせ（ボランティア、図書委員会、職員）、ビブリオバトル、家読週間の取組、図書活動推進員による環境整備など、本に親しむ機会を多く設定し、成果を得ることができた。さらに内容を工夫しながら、読書活動を充実させる。	4	4	4
	3 情報教育の充実	複式指導においてICTを積極的に活用することができた。Tタイム（業前）を活用し、タブレットの活用技能の向上や情報モラル教育を行っていく必要がある。	3	4	4
確かな人間力の向上	1 あいさつ・返事（返答）の習慣化への指導の充実	校内において、進んであいさつをする様子が多く児童に見られる。返事（返答）についても向上が見られる。今後も家庭・地域と連携しながら、あいさつ指導を継続し、よき伝統を守る。	4	4	4
	2 安全指導の推進	本年度、風水害・地震・火災の避難訓練に加え、土砂災害防止教室、不審者対応研修を実施した。今後も日頃の生活の中で、危険予測能力や危険回避能力の育成に努めていく。	3	3	3
	3 いじめ・不登校・問題行動に対する指導の徹底	毎月、アンケート調査と教育相談を実施し、いじめ等の早期対応に努めてきた。「サンサン委員会」では、気になる児童の様子について全職員で情報の共有を図り指導にあたった。関係機関との連携を図りながら、不登校児童の対応に努め、現状の改善を図っていく。	3	3	3
	4 特別な支援を要する児童への指導の充実	全ての児童に対して、支援員の協力のもと個に応じた支援を行ってきた。特に支援が必要な児童に対しては、外部機関と連携して支援内容を協議し、支援体制を確立させ、実践を積んでいく。	4	3	4
確かな体力の向上	1 心身の健康の指導の充実	養護教諭を中心に保健指導・健康指導を行い、健康的な生活習慣が全体的には定着してきている。ゲームやスマートフォンの使用時間等に課題も見られる。家庭と連携しながら、課題解決のための指導を強化していきたい。	4	4	4
	2 体力向上の推進	昨年の体力テストの結果を踏まえ、継続的に体育指導を行った結果、ある程度の成果が見られたが、新たな課題も残った。今後も「体力向上プラン」をもとに体育指導の充実と運動の習慣化、また、運動に親しむための環境整備を図っていきたい。	3	4	4
家庭・地域との連携を図った	1 全員参加のPTA活動	保護者・職員とともに全員が参加するPTA活動を、円滑に実施することができた。P戸数が減少する中、今後も保護者と職員が協力して課題を解決しながら、子ども達のためのPTA活動を推進していく。	4	4	4
	2 学校運営協議会・地域ネットワーク会の充実	学校運営協議会の中で、地域・保護者の立場から学校運営に関するご意見をいただくことができた。地域ネットワーク会からは、それぞれの分野で学校の様々な教育活動への支援をいただいている。さらに情報発信や情報交換を行いながら交流を一層深め、児童の健全な育成を目指した組織的・持続的な取組を推進していきたい。	4	4	4
	3 キャリア教育の推進	「やまびこトーク」や総合的な学習の時間（校外学習等）を通して、日之影町で活躍している人の話を聞いたり、職業観や生き方に触れたりすることができた。今後も、ねらいを明確にしたキャリア教育活動を計画的に実践していく必要がある。	3	3	3
	4 連携を図った教育活動の発信	学校の教育活動の様子を、ホームページや学校便り「青雲橋」、ネットワーク広報誌「やまびこ」等を活用して情報発信している。ホームページ更新回数の減少や、広報機関へのアピール不足等の課題を次年度は改善していきたい。	4	3	3